

佐野市新庁舎建設施工者選定手法等検討委員会報告書

平成25年3月

佐野市新庁舎建設施工者選定手法等検討委員会

1. 報告

佐野市新庁舎建設施工者選定手法等検討委員会において、佐野市新庁舎建設施工者選定手法等について、以下のように報告します。

新庁舎建設にふさわしい施工者選定方式（総括）

入札方式 → 一般競争入札（総合評価落札方式）とする。

発注方式 → 本体工事は一括発注とする。
※ 外構工事は分離発注とする。

請負方式 → 単体企業または特定建設工事共同企業体とする。

総合評価における価格以外の評価項目

価格以外の評価項目		
1 企業の能力	企業の技術力	同種工事の施工実績
		配置予定技術者の経験及び資格
	企業の姿勢	品質管理マネジメントシステムの取組状況
		環境マネジメントシステムの取組状況
設計の理解度	設計者の設計意図	
2 施工計画	工程の管理	
	施工品質の確保	
	周辺環境への配慮	
	市民への広報等	
3 地域貢献	市内業者の活用等	市内事業者（建設関係事業者）の活用に係る提案
		市内事業者（下請事業者となる建設関係事業者）の技術力向上に係る提案
		市内事業者（建設関係業者以外を対象）の活用に係る提案

2. 新庁舎建設の概要

(1) 設計概要

■基本設計趣旨

新庁舎建設の基本設計は、平成23年11月に策定した「佐野市新庁舎建設計画」に掲げている基本理念と基本方針を具現化するものとして計画します。

— 基本理念 —

- 質の高い市民サービスを提供できるコンパクトで、環境に配慮した安全・安心な総合庁舎
- 佐野市の歴史や文化を表現し、市民が誇りや愛着を持てる庁舎

(1)安全・安心を支える拠点としての庁舎

新庁舎は、市民の安全・安心な暮らしを支える拠点として、高度な耐震性能を持つ免震構造としています。防災に対し、危機管理、また、災害復興の役割を担う庁舎として計画しています。

(2)市民サービスと事務効率の向上

市民サービス向上のため、市民窓口は低層階に配置しています。また、事務効率向上のため、それぞれの部署は容易に連携のとれる配置としています。行政需要の変化に対応できる柔軟性の高い庁舎として計画しています。

(3)歴史、まちづくりと連携した庁舎

新庁舎は、佐野市の歴史やまちづくりと積極的に関係付け、まちづくりの核として、また、周辺環境との調和に配慮し、賑わいのある地区の形成に寄与する庁舎として計画しています。

(4)バリアフリーとユニバーサルデザインへの対応

バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した、誰にでも分かりやすく、利用しやすい、市民に開かれた庁舎とします。

(5)環境負荷軽減に対する配慮

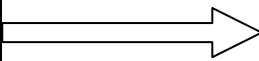
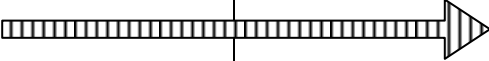
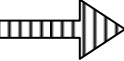
地球環境に配慮した環境負荷軽減に向け、自然エネルギーの活用を積極的に進めます。省エネルギー、省資源対策をとった庁舎とします。



■計画概要

- 計 画 地 | 栃木県佐野市高砂町1番地
- 用途地域 | 商業地域
- 防火地域 | 準防火地域
- 建ぺい率 | 80%
- 容 積 率 | 400%
- 敷地面積 | 5,129.62㎡
- 主要用途 | 事務所(庁舎)
- 建築面積 | 2,781.69㎡
- 延床面積 | 20,405.54㎡
- 構造形式 | (上部構造): 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造
(下部構造): 鉄筋コンクリート造(地下駐車場部分)
柱頭免震構造
- 階 数 | 地上7階、地下1階、塔屋1階 ○建物高さ | 34.45m
- 駐車台数 | 約150台(うち思いやり駐車場4台)
- 設備概要 | 車椅子対応エレベーター台数: 3台(うち人荷用1台)
- 総事業費 | 約68億円

(2) 事業スケジュール

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
設計業務				
施工者選定		入札公告		
建設工事		契約の議決  本体工事	 外構工事	
供用開始				